



2019年11月7日

各 位

オーケー食品工業株式会社
 代表取締役社長 大重 年勝
 (JASDAQ・コード2905)
 問い合わせ先
 専務取締役管理本部長 城後 精二
 電 話 (0946) 22-2000

第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績を踏まえ、2020年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,600	百万円 5	百万円 10	百万円 5	円 銭 1.35
実績値 (B)	4,772	△87	△63	△99	△26.88
増減額 (B-A)	172	△92	△73	△104	—
増減率 (%)	3.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	4,522	△69	△20	△22	△6.19

2. 2020年3月期通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,200	百万円 60	百万円 70	百万円 50	円 銭 13.50
今回修正予想 (B)	9,400	10	20	10	2.70
増減額 (B-A)	200	△50	△50	△40	—
増減率 (%)	2.2	△83.3	△71.4	△80.0	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	9,133	△50	14	1	0.33

3. 差異が生じた理由及び修正の理由

第2四半期連結累計期間では、売上高につきましては、主にコンビニ向け「味付けいなり」の販売が好調に推移したことにより、前回予想数値を上回る結果となりました。

損益につきましては、想定以上に人手不足による労務費の増加や製造経費増加に加え、物流費の増加などもあり、当初予想数値を下回る結果となりました。

通期につきましては、売上高は、上半期と同様の需要で推移すると思われることから、上方修正いたします。また、利益につきましては、更なる生産効率の改善等、収益改善に努力してまいります。上半期の業績不振をカバーするまでには至らず、前回予想値を下回るため修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上